

## 震災30年の防災教育の取組について

### 1. 趣旨

○令和7年1月に、阪神淡路大震災発生より震災30年を迎える。神戸市では、これまでも一人一人の子供に「生きる力」を育むために、防災教育をその中心として位置付けて取り組んできた。

○これまで本市が歩んできた過程を振り返り、一人一人が過去から未来を見つめ、地域・学校などのコミュニティ単位でも防災と向き合う機会としていくために「いつも ところに ともしびを」を合言葉に“ともしびプロジェクト”として、令和6年4月より1年間を通して、震災を振り返り、防災意識を高めていく活動を各校園の実態に応じて推進していく。

### 2. ともしびプロジェクトについて

学校園において、防災教育を通じて新たなる神戸の歴史を積み重ね続けている思いを「ともしび」に例え、「みつめる」「いかす」「つなぐ」の3つの視点で活動に取り組む。

- ・ともしびを「みつめる」プロジェクト … 震災から得た教訓を学ぶ活動
- ・ともしびを「いかす」プロジェクト … 人とのかかわりを大切にして、生命を守る活動
- ・ともしびを「つなぐ」プロジェクト … 誰かのところに寄り添う感性を高め、自らが主体となつてつなぐ活動

### 3. 取組のスケジュール

令和6年4月 「さあ、はじめよう ともしびプロジェクト」教育長メッセージ全校配信

5月～ 各校での取組

- ・避難訓練 ・放水体験 ・消火器訓練 ・心肺蘇生法講習
- ・炊き出し体験 ・ハザードマップ作り
- ・防災副読本を活用した授業
- ・大学や民間企業と連携した防災学習

令和7年1月17日 各校において防災学習・追悼行事

2月13日 防災教育実践発表会